

馬頭高校存続のため高校魅力化プロジェクトの活用を

(町長) プロジェクトの活用も視野に入れ 高校生の地域定着に努める

馬頭高校への支援

質問 馬頭高校存続は那珂川町の存亡に係わると考える。馬頭高校存続の観点から、今後どのような支援を考えているか。

答弁 関係機関と連携を図りながら、様々な角度から効果のある支援を検討していく。

質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で高校生のまちづくりへの参画を掲げているが、馬頭高校生は今後どのようにまちづくりに参画できるのか。

答弁 馬頭高校生には、未来創造会議などの直接的な関わりの方



益子明美議員

か、アンケート調査や各団体との意見交換といった間接的な関わりなど、様々な形で参画していただき、参加機会の創出につなげたい。

質問 茂木町では高校魅力化プロジェクト事業を活用し、茂木高校に町営の公設塾を開設した。当町でも馬頭高校に則した内容で高校魅力化プロジェクトを活用してはどうか。

答弁 町は、高校と地域の橋渡し役を担うなど、高校生を対象とした事業が効果的で充実したものであるよう支援し、高校魅力化プロジェクトの活用も視野に入れ、高校生が地域に定着しやすい環境づくりに努めていく。

質問 今後の町の6次化事業である、食と農の拠点事業に馬頭高校生を参画させ、高校生の地域定着の足掛かりとすべきではないか。

答弁 食と農の拠点事業では、農業者の育成をはじめ、農産物加工食品の製造、販売、食と農に関する学びの場を想定している。高校

生が主体的に何ができるか、高校側とも相談していく。

質問 町民のより深い馬頭高校への理解と協力を得ていくため、地域全体で組織を立ち上げ、馬頭高校の人的、物的学習資源を町民の生涯学習に役立てる考えはあるか。

答弁 既に高校内で検討されている新たな組織の設置に協力する。その上で、小・中・高校の各学校間、各学校と地域、学校・地域・町の連携を図られることから、それぞれのニーズに応じ、町にとっては生涯学習のみならず、福祉や産業などあらゆる面に役立てられると考えている。

土砂条例の改正を

質問 県外土砂の搬入と改良土の搬入を禁止した条例が、県内各市町で改正される動きがある。町でも条例改正をする考えがあると聞いているが、その内容を伺う。

答弁 環境保全や土壌の安全性の観点から、県内各市町の動向を見極めながら所要の改正を検討していく。

質問 土砂の埋め立ての適用範囲は現条例では1000㎡となつて

いるが、茨城県の自治体の多くは下限値を撤廃し、事前協議の義務付けと周辺関係者への説明を条例に定めている。当町でも同様に改正すべきでは。

答弁 基準の撤廃については、近隣市町の動向を注視しながら検討する。なお、条例に規定はないが事前に事業者から相談があり、必要な手続きや周辺関係者への説明など、十分に協議している。

質問 町では、今年度発生した道路の損傷の事案に対して補修を行った。町道等の損傷や、未然防止のため保証金制度を設け、条例に追加すべきと考えるが。

答弁 原則、原因者負担で修繕すべきと考えている。町が許可する際にはその点を説明し、対応策を取るよう指導している。保証金制度については、県外市町を参考に研究する。



ここが聞きたい

一般質問！ 益子明美議員

Q 馬頭高校への支援について

Q 土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例について

一般質問！ 川上要一議員

- Q 放課後児童クラブの管理運営について
- Q 町道の改良について

小川放課後児童クラブ施設の改修予定は

(町長) 大規模改修の予定はない



川上要一議員

えており、空き教室等がない状態であるため、利用は難しい。

質問 小川放課後児童クラブ施設の改修計画はあるのか。

答弁 必要に応じて修繕の対応をしている。児童が安全で快適に過ごせるよう、窓ガラスの飛散防止フィルムを設置や床のクッション張替え等を予定しているが、大規模な改修は予定していない。

放課後児童クラブの管理運営

質問 小川放課後児童クラブの建物は耐震基準を満たしているか。

答弁 小川放課後児童クラブの建物は、昭和52年に建築された小川第一保育園の園舎を有効活用したもので、昭和56年の新耐震基準以前の建物であり、基準を満たしているか確認していない。

質問 子供たちの安心安全を考慮し、小川小学校の空き教室の活用や敷地内にプレハブ等の施設建設は検討されてきたのか。

答弁 現在、特別支援学級等が増

えており、空き教室等がない状態であるため、利用は難しい。

質問 小川放課後児童クラブ施設の改修計画はあるのか。

答弁 必要に応じて修繕の対応をしている。児童が安全で快適に過ごせるよう、窓ガラスの飛散防止フィルムを設置や床のクッション張替え等を予定しているが、大規模な改修は予定していない。

質問 特にトイレ等の老朽化がひどい。清掃等は行き届いているが、構造上臭気もこもる。女性用の使用可能なトイレは2か所しかない。トイレの改修計画はあるのか。

答弁 小川放課後児童クラブのトイレは建築当時のまま使用されており、男女のトイレが同じ空間にあり、好ましくないと考えている。トイレの臭気は何度掃除しても臭いが戻ってきてしまうため、12月補正で専門業者に見てもらおう予定。

質問 馬頭放課後児童クラブの児

童が、プレハブ施設のワンフロアで活動している。集中した学習を行うため、アコーディオンカーテン等で区切る必要があるのでは。

答弁 集中した学習のためアコーディオンカーテン等で区切ることは適切ではあるが、支援員の目が行き届かなくなる。放課後児童クラブの生活は指導員の目が届く安全な場所での生活が一番と考えているため、区切ることは考えていない。ほかの学年の邪魔にならない様に、学校でも宿題のやり方や持たせ方を工夫してくれている。

質問 規定にあわず利用できない方や、家族の急病・妊娠・出産により、一時預かりを希望する状況もあると思う。近隣の市町では一時預かりの事業がすでに実施されているが、当町でも保護者のニーズにある一時預かり事業を実施する考えはあるか。

答弁 毎日利用するのではなく、必要に応じ一時預かりを利用したいという保護者の要望が数年前からあることから、来年度より一時預かり利用ができるよう、現在調整中。

質問 当町の放課後児童クラブの

利用料金は、近隣市町と比べてどうか。

答弁 当町の放課後児童クラブの利用料金は月額8000円で、料金の中に土曜日の利用料とおやつ代が含まれている。近隣市町では、土曜日の利用料やおやつ代を別途徴収する市町もあり、料金の設定が様々で、全て含めての利用料は9000円から1万5000円程度となっている。

町道の改良

質問 町道の上町上川原線、上川原一区入口線、上川原共同畜舎線の3路線は、狭険のため、長年、地域住民から改良の要望が出ている。狭険で車両のすれ違いもできない状況であり、児童生徒の通学路にもなっているが、今後、改良計画はあるのか。

答弁 3路線については、国道294号上町交差点改良工事をはじめ、整備が進んできており、以前と比較して交通事情に変化がみられることから、地域住民の利便性はもとより、安全性を担保する観点から現状を把握したうえで検討していく。

遠距離通勤者に通勤費の助成を

(町長) テレワークの普及状況など総合的に勘案し、支援の必要性和具体的な施策について検討

町外通勤者への経済的負担軽減

質問 町外へ通勤している人数は。

答弁 平成27年度の国勢調査における町内の15歳以上の就業者数は8629名で、その内、町外へ通勤されている方は3422名、およそ40%。

質問 町内に在住している遠距離通勤者に対する負担軽減策はあるか。

答弁 具体的な負担軽減策は行っていない。
質問 テレワークを後押しするた



益子純恵議員

めには遠距離通勤者への支援も重要と考えるが。

答弁 マイカー等への助成などにより移住定住される方が多くなるという状況なら検討する。

質問 テレワークなどの働き方で当町への移住を検討している方に、町で利用率の高い駅周辺に駐車場を借り上げ、必要な方に貸し出す策を講じては。

答弁 移住定住される方が多くなるのであれば、積極的に検討する。

質問 ガソリン価格の高騰で多くの町民が影響を受けている。また、事業所の閉鎖により転職を余儀なくされる方がいる。通勤費用を憂いて町外転出も懸念されるが、町の考えは。

答弁 通勤手当の問題が解決され、定住がなされるなら大いに検討しなければならない。

質問 通勤経費の補助として、現金ではなく、町内で使用できる給油券や地域の商品券であれば地元

事業者の消費拡大の効果も得られると考えるが。

答弁 通勤手当補助が定住促進にどれだけ効果があるかを第一に検討していく。

質問 町外に働きに出る方が安心して働くことができることも重要なこと。試験的に補助を実施しては。

答弁 効果があるか、通勤されている方の声を聴いていく。遠距離通勤のための駐車場の助成も一つの方策だと思う。総合的に勘案し検討していく。

投票所の環境整備

質問 投票に来た方が段差などで転倒しケガをする可能性がある。投票所のケガ防止対策の現状は。

答弁 投票所として15か所を指定している。期日前投票所以外の13か所については、段差のないバリアフリー施設はほとんどない。

質問 高齢者にとって靴の履き替えは転倒に直結する。脱ぎ履きをサポートできる環境作りとして、安定した椅子を用意するなどには可能か。

答弁 安定性の高い椅子は必要である。踏み台の用意も可能。今後

の投票所に際して参考にする。
質問 駐車場から投票所までの距離が長く、歩くことができない方がいる。車いすの用意などの考えはあるか。

答弁 駐車場から投票所までの車いす利用について、一声かけてもらえれば用意できる。

質問 投票所の改修はコストがかかるため、簡易的に設置できる段差解消のための福祉用具を用意するなど、安心して投票できる環境を整えていただきたいが。

答弁 投票率向上のため、できる限りの配慮はしなければならぬ。今後検討していく。

質問 職員の皆様には、介助の必要な方への接遇に対して、どのように配慮すべきと伝えているのか。
答弁 事務職員には事前に投票事務の説明を行い、介助を要する方に対する接し方についても選挙の度に説明している。



ここが聞きたい

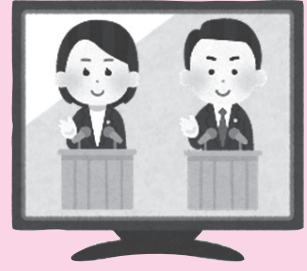
一般質問！ 益子純恵議員

Q 町外へ通勤する方への経済的負担軽減について

Q 投票所の環境整備について

感染症対策として、地域での報告会を中止

今年度もケーブルテレビによる 議会報告会



町民の皆さまに議会活動や取り組みを知っていただき、また、ご意見やご要望を伺い、町政に反映・提言するための、「町民と議会との意見交換会」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度同様、地域での報告会を中止し、ケーブルテレビによる議会活動報告となりました。今年度は、当町議会として初めて実施した『高校生との意見交換会』を中心に報告いたしました。

【実施した内容】

◇放送期間

令和3年11月22日～11月28日

◇番組名

なかTVチョイス

◇放送内容

議会活動報告・各常任委員会活動報告・議会広報特別委員会活動報告

◇意見等募集期間

放送日～令和3年12月15日

【活動報告の主な内容】

◇議会全体

・高校生との意見交換会

◇議会運営委員会

・定例会や臨時会の状況
・議会での感染症対策

◇総務産業常任委員会

・6月実施の所管事務調査について

◇教育民生常任委員会

・7月実施の所管事務調査について

・通年で実施している所管事務調査について

◇議会広報特別委員会

・議会だよりの発行・編集作業について



放送された映像



総務産業常任委員長



教育民生常任委員長



議会広報特別委員長

放送後、町民の皆さまから意見や感想・要望などいただきましたので、内容について、議会運営委員会で協議しました。

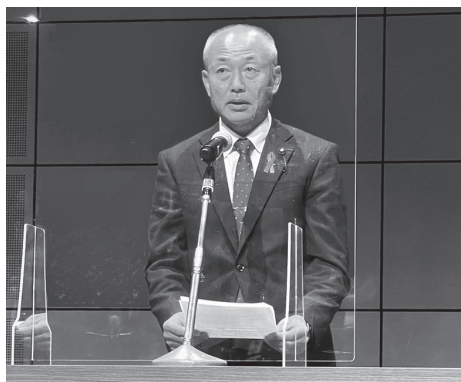
新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、来年度の議会報告会は、地域に訪れての開催を予定しております。

県町村議会議長会 議員研修に参加

11月25日、県総合文化センター
栃木県町村議会議長会主催の町村
議会議員研修会に、全議員が出席
しました。

研修に先立ち、栃木県町村議会
議長会会長として、鈴木議長があ
いさつしました。

県内11町議会から議員が出席
し、子ども家庭教育フォーラム
富田富士也氏から『議員は「街角」
のカウンセラー』『還る家』はあ
りますか』、政治評論家 有馬晴
海氏から『これからの政局・政治
活動』と題して講演が行われまし
た。



あいさつする鈴木会長

【研修を受けて・・・】

住民が議員の「還る家」になっ
ているか。住民との心の出合いを
「物語」っているか。住民の不条
理、孤独と向き合っているか。「利」
く議員から「聴」く議員になって
いるか。住民に「甘えられる」議
員になっているか。生まれた町を
生きた時代を議員よ語ってほし
い。
(大金清議員)



議員研修会の様子

エコグリーンとちぎ 工事現場見学会

1月25日、全議員で県管処分場
「エコグリーンとちぎ」の工事現
場を見学しました。

現場事務所において、栃木県資
源循環推進課職員と施業者から
工事概要や進捗状況などの説明を
受け、質疑応答の後、工事現場に
移動し現場見学を行いました。
令和5年中の稼働に向け工事が
進められています。



進捗状況の説明を受ける議員



工事が進む現場

《常任委員会の経過》

総務産業常任委員会

開催日 11月9日

食と農の拠点事業基本構想(案)、那珂川町観光振興計画(案)について、産業振興課から説明を受けました。

食と農の拠点事業基本構想(案)は、旧薬利小学校を拠点施設とし、農産物等の加工品の開発、製造、販売を行う6次産業化や農商工連携、食育や地産地消の推進を図る取組みで、令和7年度の稼働を目指しています。



食と農の拠点施設の旧薬利小学校

開催日 12月1日

「町道谷田・高岡線に関する請願」の審査を行いました。

本請願の紹介議員と町道所管課である建設課から現状等について説明を受けた後、現地確認を行い、請願人から説明を受けました。

審査の結果、早急に安全対策を講じる必要があると、採択すべきものと決定しました。



町道谷田・高岡線

教育民生常任委員会

開催日 12月15日

第2次環境のまちづくりを基軸とする那珂川町地域振興計画(案)について、生活環境課から説明を受けました。

この計画は、最終処分場への住民の不安解消を図るため、環境に配慮したまちづくりを目指した地域振興策で、農林業の再生、循環型社会の構築、水質保全・快適な生活環境の形成、信頼の構築を基本政策とし、「人・もの・自然が融和しみんなで手を取り合い元気を生み出すまち」の実現を目指すものです。

【委員会での意見】

・環境学習施設の管理運営費について、町で負担することの無いよう対応されたい。また、管理運営費について明文化すべきでは。
・農林業の活性化について、産学官連携として、農業大学校とも連携すべきでは。



また、8月から継続して所管事務調査を実施したコミュニティ・スクールについて、調査結果をまとめました。

コミュニティ・スクールは、今年度馬頭東小学校に設置されましたが、令和4年度からは町内全小中学校に設置されることとなります。

学校が存続していくためにも、学校の現状などを地域や団体等に丁寧に説明、周知し、理解をしていただくよう努めていただきたいものです。

《特別委員会の経過》

議会広報特別委員会

開催日 12月23日、1月24日

2月2日

議会だより2月10日発行第66号
について、編集を行いました。

また、もっと読みやすく・もつ
と手に取ってもらえる議会だより
を目指し、現行の「議会だより編
集要領」について見直しを始めま
した。



議会だより編集の様子

議会の日程&内容

令和3年 11月	2日	議会広報特別委員会	(第18回)
	9日	総務産業常任委員会	
	10日	議会だより第65号発行	
	18日	全員協議会	
	22日	議会運営委員会	(12月定例会)
	22日~28日	議会報告会・ケーブルテレビ放送	
	25日	栃木県町村議会議長会議員研修会(宇都宮市)	
	26日	南那須地区広域行政事務組合議会臨時会	
	30日~12月2日	令和3年第6回議会定例会	
	12月	1日	総務産業常任委員会
15日		教育民生常任委員会	
21日		議会運営委員会	
23日		議会広報特別委員会	(第19回)
令和4年 1月	24日	議会運営委員会	(1月臨時会)
	24日	議会広報特別委員会	(第20回)
	25日	「エコグリーンとちぎ」工事現場見学会	
	27日	令和4年第1回議会臨時会	
2月	2日	議会広報特別委員会	(第21回)
	2日	教育民生常任委員会	
	10日	議会だより第66号発行	



子ども服お下がり交換会

主催者 磯野奈央子さん
(馬頭)



なかちゃん
聞きました。

Q お下がり交換会を始め
たきっかけは？

A ママ、親子のコミュニ
ティを作って、小さい子を
連れて参加できる事をやっ
てみたいと思ったの。いろ
いろな自治体でやっている
のを参考にして始めたよ。

Q ママとのコミュニ
ティが必要だと感じたんだね。

A 子どもが6か月の時に
引っ越してきたけど、知っ
ている人がいなくて不安
だったの。多くの人と触れ
合えるコミュニティの場を
作って、子育てママたちの
輪を広げたいと思ったの。

Q 一緒に活動してくれる
人は？

A 手伝ってくれるママた

ちがっているよ。多くの方に
参加してもらいたい
な。

Q 初めてお下がり
交換会はいつ？

A 去年5月に初め
て開催したよ。コロ
ナの影響もあって、
自宅で、2部制で各
5組限定で行ったの。

Q 交換会で余った
服はどうするの？

A 持ち帰る方もいるけ
ど、理解が得られれば、処
分せず海外に送って活用し
てもらっているよ。大切に
したいからね。

Q どうやって参加する
の？

A 子育て支援課の協力
で、認定こども園にチラシ
を置かせてもらったの。今



10月に開催された交換会の様子

交換会のチラシ (抜粋)

子ども服 お下がり交換会

お下がり交換会って？
まだ使える子ども服・絵本やおもちゃなど暮らなくなった品を交換
※10月までと限定開催しました。ママサイズアウトしてもう着られなくなった
※お気に入って着たいだけお下がり交換会です

OK
子ども服のみの開催です
(秋・冬服 / ベビーから130cmまで)
きれいに洗濯や除菌されているもの
自分ももってうれいと思えるもの

NG
春・夏服 (来年4or5月に開催予定)
靴・人形・ぬいぐるみ・絵本・おもちゃ
→今後検討予定
大きな汚れ・破れ・ほつれがあるもの

【ご協力】
お洋服のご提供いただける方は事前に持ち込み
または取り取りに行きますのでご連絡ください
当日お持ちいただいてもOKです

当日はお持ち帰り用の袋もお持ちください
持ち帰った際は次回開催時に持ち帰っていただきます
またはお持ち帰りいただいても大丈夫です

お問い合わせ
→お電話またはメッセージ
→LINEにてお申し込み
※LINEが繋がります

あなただのお気に入り
が誰かのお気に
入りに。大切に
してほしい。

後もチラシを作るので、気
軽に参加してほしいな。
Q やってよかったと思
うことは？

A 初対面のママ同士でお
話している姿、子ども達が
笑顔でその空間を楽しんで
くれている姿を見られるこ
とかな。

Q これからの目標は。

A 毎年4月と10月に定期
的に開催したいな。そして、
ママたちの得意分野を生か
して、みんなで楽しめるマ
マフェスを開催するのが目
標なんだ。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。
傍聴の際には、マスク着用・手指消毒など、
感染防止対策にご協力願います。

次の定例会は、3月2日開会
(令和4年第2回議会定例会)の予定です。
議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

編集後記

今年もコロナへの対
応が必要になるでしよ
うが、収束も見えてく
ると思います。

人類の知恵、勇氣、
努力が試されるのが
「地球温暖化」の問題でしょ
う。異常な豪雨・森林火災、猛
暑、干ばつ、海水温上昇など、
これまでとは明らかに違った
現象が起きています。数年足
らずの間に、全世界のCO₂排出
を半減できるかどうか、ここ
に地球の未来がかかっている
と言われていきます。国全体の
課題もたくさんありますが、
町としてどうするかも問われ
ています。生ゴミの資源化、
雑紙の回収促進などで、燃や
すごみを徹底的に減らす、農
産物の地産地消を抜本的に
進める、「耕作放棄地」を、畑
地化や太陽光発電などで有
効活用するなどはどうかと思
います。

町は、町民の方からいるん
な「知恵袋」を出してもらい、
できそうなものから取り組ん
でいっていいのではないでし
ょうか。行動が急がれます。

議会広報特別委員会
副委員長 川俣 義雅

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

